

ソーシャルワーク基礎実習指導

[講義・演習] 第2学年 通年 必修 1単位

《履修上の留意事項》【面接授業と遠隔授業の併用実施】

《担当者名》◎近藤 尚也 ○巻 康弘 奥田 かおり 中田 雅美 松本 望 片山 寛信
(◎主担当者、○副担当者)

【概 要】

8月に実施される5日間のソーシャルワーク基礎実習に対する事前・事後教育の科目である。基礎実習に必要な知識や態度について学び、基礎実習、実習報告会等を通してソーシャルワークの概要を理解する。それをふまえて、3学年のソーシャルワーク実習への備えを進めていく。

【学習目標】

- ①ソーシャルワークのイメージを明確にする。
- ②福祉サービスを必要とする方のニーズを知る。
- ③福祉や医療の実践現場で働くソーシャルワーカーの業務内容を知る。
- ④ソーシャルワークの魅力と概要が説明できる。

【学習内容】

回	テーマ	授業内容および学習課題	担当者
1	オリエンテーション 全体指導①	オリエンテーション。 実習に向けた興味関心を表出する。オンラインを活用した相互コミュニケーションスキルを身につける。 (Zoomブレイクアウトルームの実践)	巻、奥田、中田、近藤、 松本、片山
2	全体指導②	実習における感染症対策について。 実習に向けた動機づけと事前知識の獲得を目指す。 実習に向けたグループ学習課題について理解する。 オンライングループ学習の実践。	巻、中田、近藤、松本、 片山
3	全体指導③	グループ学習課題の共有化（オンライン報告会）。 実習への抱負レポート作成についての理解。 実習配属先の調整について。個人票について。	巻、奥田、中田、近藤、 松本、片山
4	全体指導④	実習配属先の最終確認 実習における実習生に必要な態度などを理解する(電話のかけ方、実習時のマナー、個人情報保護等) 実習生に求められる態度（出退勤管理、お礼状など）について理解する。実習日誌の記載方法を理解する。 事前連絡に関する確認。	巻、奥田、中田、近藤、 松本、片山
5	グループ指導①	実習における実習生に必要な態度などを理解する(電話のかけ方、実習時のマナー、個人情報保護等) 実習日誌の記載方法を理解する。 実習施設・機関について理解する。	巻、中田、近藤、松本、 片山
6	グループ指導②	実習生に求められる態度（出退勤管理、お礼状など）について理解する。 実習施設・機関について理解する。	巻、中田、近藤、松本、 片山
7	グループ指導③	実習先施設・機関について理解する。 個別の実習体験をグループで共有化する。体験からソーシャルワークのイメージを明確にする。	巻、奥田、中田、近藤、 松本、片山
8	グループ指導④	個別の実習体験をグループで共有化する。体験からソーシャルワークのイメージを明確にする。 実習報告会において報告する原稿・報告集の作成・報	巻、奥田、中田、近藤、 松本、片山

回	テーマ	授業内容および学習課題	担当者
		告会に向けたスケジュールの調整を行う。	
9	グループ指導⑤	個別の実習体験をグループで共有化する。体験からソーシャルワークのイメージを明確にする。	巻、奥田、中田、近藤、松本、片山
10	グループ指導⑥	個別の実習体験をグループで共有化する。体験からソーシャルワークのイメージを明確にする。 グループ学習のまとめ。報告会に向けた報告の最終確認。	巻、奥田、中田、近藤、松本、片山
11	ソーシャルワーク実習の概要理解①	ソーシャルワーク実習の概要を理解する。 ソーシャルワーク実習 実習分野及び機関について理解する。実習アンケート記入。 報告会の運営準備を行う。	巻、奥田、中田、近藤、松本、片山
12	実習報告会	ソーシャルワーク実習報告会	巻、奥田、中田、近藤、松本、片山
13	ソーシャルワーク実習の概要理解②	W実習配属調整ガイダンス（先輩との交流） SW実習配属依頼先調整を通し、実習分野への関心を明確化し、自らの実習先を調整する。	巻、中田、近藤、松本、片山
14	ソーシャルワーク実習の概要理解③	SW実習配属調整ガイダンス（SW実習配属依頼先調整を通じ実習分野への関心を明確化し、自らの実習配属依頼先を決定する。・実習コンピテンス・アセスメントの概要について理解する。）	巻、中田、近藤、松本、片山
15	ソーシャルワーク実習の概要理解④	SW実習配属調整ガイダンス（配属依頼結果確認） ・ソーシャルワーク実習配属先を決定し、施設機関理解に向けた学習課題を理解する。	巻、中田、近藤、松本、片山

【評価方法】

評価方法：課題等を総合して評価を行う。

授業態度 70%(全体指導40%、グループ指導30%)

各種提出物の内容 30%(SW基礎実習への抱負レポート、施設機関概要レポート、実習報告書等)

【備 考】

教科書：社会福祉実習要綱、社会福祉実習の手引き(講義時に必ず持参すること)

「保健医療機関における社会福祉実習～実践的実習マニュアル～」北海道医療ソーシャルワーカー協会（保健医療分野実習学生のみ）

参考書：必要に応じて提示する。

その他：提出物は必ず「社会福祉実習室」に備える当該提出物ボックスに提出すること（別途指定を除く）

【学習の準備】

毎回次の授業範囲を予習し、専門用語の意味等を理解しておくこと。特に実習を行う分野、機関に関連することは実習の手引きやインターネットにて調べること（80分）。

グループでの実習報告会に先立ち、自らの体験・学びをまとめておくこと（80分）。

【ディプロマ・ポリシー(学位授与方針)との関連】

DP2,3

【実務経験】

巻 康弘（社会福祉士）奥田 かおり（ソーシャルワーカー）中田 雅美（社会福祉士）松本 望（社会福祉士）片山 寛信（社会福祉士）近藤 尚也（社会福祉士）

【実務経験を活かした教育内容】

社会福祉士、ソーシャルワーカーとしての実務経験を通じて得た知識・技術・態度等を活用し、実践的な教育を行う。